

まつぼっくり



宇城市立三角小学校
学校だより 第31号
文責 校長 西村羊治
令和7年7月28日

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」
～当たり前のことをきちんとやる人材育成をと～

みすみ港まつり

7月26日（土）三角西港周辺で「みすみ港まつり」がありました。海上保安庁の船の展示、自衛隊の装備車両等の展示、保育園児の出し物、たくさんの屋台、駐車場には入りきれないほどの自動車。祭りが以前からあったことは知っていましたが、祭りに来たのは初めてでした。目的は、音楽部による吹奏楽と6年生による合唱の発表を視聴することです。私がステージ前に到着したときには、予定より早い時刻で音楽部の演奏が始まるところでした。子どもたちは逆



音楽部の発表

6年生の合唱



光が照りつける中、中学生や高校生と一緒に演奏を始めました。前日、本校の音楽室でも聞かせていただきましたが、本番のステージ上での演奏がとてもまとまってお聴き応えがありました。先輩が3人加わったことありますが、今までの練習の成果を自信を持って発揮できたからだと思います。豊福小で吹奏楽部を指導している岩崎先生も「上手になった!」と感心しておられました。

次に保育園児

の見事な発表をはさんで、6年生のNコンに向けての合唱2曲です。ステージには屋根がありません。しかも逆光です。ピアノがないのでCD伴奏です。スピーカーが子どもたちより前にあるので、伴奏が聞きづらかったと思います。そのような条件もあり、一曲目の「あおい天使」は伴奏と合唱がズレてしまいました。しかし、最後まで歌いきったことはすばらしかったです。二曲目の「ふるさと」は、指導者が機転を利かせてアカペラでいきました。良かったです。きれいなハーモニーがやさしく聞こえてきました。司会からも「きれいな歌声でした」との評価をいただくことができました。発表後、「緊張した人」と聞くと3分の2以上いました。歌っているときの表情が硬かったり、こわばったりしている子が確かにいました。緊張しすぎているなと感じました。緊張感0もあり良くありませんが、しすぎるのも良くありません。ほどよい緊張感を持って歌を

ハワイアンを踊る正垣先生



本校の元ALTの チェイ先生
からのお褒めの言葉



楽しむことが必要です。そのために、指揮者を見て、伴奏や他のパートの音を聞いて、ハモらせてきれいな声をはっきりと出すことを楽しむことが必要です。8月5日の本番まで1週間、一人一人がさらに自信を持てるよう、仲間のことを思って練習に励んで欲しいと思います。

今回の「みすみ港まつり」を見せてもらうことで、さらに三角の良さ、子どもたちの頑張りを体感することができました。三角の皆さん、本当にありがとうございました。